

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（WEB）

2023/07/07

がん診療連携拠点病院等における
がん診療の実態把握に係る評価指標の確立に向けた取り組み

（厚労科研 藤班・中間報告）

藤 也寸志

（国立病院機構 九州がんセンター 院長）

がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る 適切な評価指標の確立に資する研究（22EA1005）

研究代表者

藤 也寸志 国立病院機構九州がんセンター 院長

分担研究者

若尾 文彦 国立がん研究センターがん対策情報センター本部 副本部長

東 尚弘 東京大学大学院 公衆衛生学 教授

高山 智子 静岡社会健康医学大学院大学 社会医学研究科 教授

小寺 泰弘 名古屋大学大学院 消化器外科学 教授（名古屋大学病院 病院長）

増田 昌人 琉球大学病院 がんセンター 特命准教授

津端 由佳里 島根大学病院 呼吸器・化学療法内科 講師

横川 史穂子 長野市民病院 看護部 師長

前田 英武 高知大学病院 医療ソーシャルワーカー

研究協力者

松本 陽子 愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

栗本 景介 名古屋大学大学院 消化器外科学 助教

藤下 真奈美 国立がん研究センターがん対策研究所 がん登録センター全国がん登録室 室長

力武 諒子 東京大学大学院 公衆衛生学 助教

市瀬 雄一 国立がん研究センターがん対策研究所 医療政策部 研究員

山元 遥子 国立がん研究センターがん対策研究所 医療政策部 研究員

齋藤 弓子 国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部 特別研究員

森田 勝 国立病院機構九州がんセンター 副院長

令和4年度 厚生労働科学研究費補助金公募要項 (3次)

【目標】

…………… がん患者のニーズや社会的な課題等を踏まえた医療体制を整備するため、がん診療連携拠点病院の診療実態の評価が求められているが、その評価指標や評価方法は確立していない。

本研究課題は、がん診療連携拠点病院等に関する医療提供の実態を踏まえた、継続評価可能な質の評価方法を策定し、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」にエビデンスを提供し、がん診療連携拠点病院等の整備指針の策定に活用することを目標とする。

また、研究成果はがん対策推進基本計画で掲げた施策の実行にも活用する。

がん診療連携拠点病院等における がん診療の実態把握に係る適切な評価指標の確立に資する研究

現状と課題

- 各がん診療連携拠点病院等（拠点病院等）によるがん医療提供体制の実態（がん対策推進基本計画が目指す姿に向けて機能しているか）に関して、患者・家族の視点や多様な立場の医療提供者の視点を含めた継続的な質の評価が望まれている。
- 拠点病院等の現行の現況報告書に関して、次期整備指針の策定に活用できる客観的な評価指標（運用状況や進捗等を確認できる評価指標）の検討はなされていない。

拠点病院等の運用状況や進捗等を確認できる
客観的な評価指標の策定

策定した評価指標による評価の可能性の検証

研究のゴール

- 拠点病院等の診療の質や実態を継続的に評価できる指標を開発し、拠点病院等の整備指針の策定に活用する。
- 共通の指標に基づく各拠点病院等や各地域、さらに全国におけるベンチマーキングやPDCAサイクルの推進を共有し、「がん対策推進基本計画」の策定や「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」等における議論に資するエビデンスを提供する。



研究計画・方法

R4年度：・評価指標の洗い出しと整理 <既存データベース（院内がん登録・DPC・レセプトNDB・患者体験調査等）、がん対策推進協議会等における議論、拠点病院等の活動に関わる既存研究班（高齢者・AYA・生殖医療・希少がん等）や地域医療機関へのヒアリング>
・拠点病院等に対するアンケート調査の計画 <必要な評価指標や現場が評価を望む活動等について、現場からの意見の収集>

R5年度：・拠点病院等に対するアンケート調査の実施と解析
・拠点病院等を対象とした意見交換会の実施 <アンケート調査に基づいた更なる現場の意見の収集>
・選定された評価指標の測定に関するパイロット調査の計画 <実際の評価指標を用いた調査方法を検討>

R6年度：・パイロット調査の実施と解析 <各指標が拠点病院等の実態を示すのに有効かどうかの検証>
・拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な新しい評価指標を提言する。



期待される効果

- 策定した評価指標により、拠点病院等の活動実態をより明確に評価でき、各施設における継続的なPDCAサイクルの促進につながる。
- 指標を各都道府県、または全国的に継続的に調査しベンチマーキングすることで、各地域または全国のがん医療の実態や質の改善状況を把握できる。
- 新たな指標の評価に基づいて、拠点病院等の適切な指定やがん対策推進基本計画へのエビデンスの提供を行うことができる。

本研究の流れ（1年目・2年目）

拠点病院等の運用状況や進捗等を確認できる客観的な評価指標の開発と選定

令和4年度

ロジックモデルから考える指標案：研究班のコンセンサス形成

・がん診療連携拠点病院はどうあるべきか？ ・各指針の目標は何か？ 等

評価指標の洗い出しと整理

既存データベースからの「拠点病院等の医療の質の評価」に資する指標の洗い出しと整理

現場への聞き取り（現場が望む指標は？）
⇒ 都道府県がん拠点 & 地域がん拠点

拠点病院等の活動に関わる既存研究班へのヒアリングによる評価指標の洗い出しと整理

がん対策推進協議会等における議論の整理

★診療部門・がん相談支援センター・緩和ケア・地域連携等の部門の実務者への調査
★都道府県拠点へは、連携協議会あり方についても調査

・高齢者 ・小児がん ・AYA世代
・妊孕性 ・緩和ケア ・希少がん
・ピアサポート 等

令和5年度

全拠点病院等に対するアンケート調査（+意見交換会）

「洗い出し・整理された評価指標案について」「現場が望む評価指標とは？」について

適切かつ客観的な評価指標（案）の策定

本研究の流れ（3年目）

令和6年度

策定した評価指標による評価の可能性の検証

選定された評価指標の測定に関するパイロット調査

＜各指標が、拠点病院等の実態を示すのに有効かどうかの検証を行う＞

- ・施設間差、地域間差などベンチマーキングができる指標か？
- ・同じ指標を経時的に測定することで、拠点病院の質の向上を測定できる指標か？
（アウトカム評価として、年齢調整生存率などにまで踏み込むか）

- ◆ 実際の指標について、データを提供してもらう（一部は中央集計で）。
- ◆ 同一都道府県内での拠点間の比較の可能性も必要
⇒ 複数の都道府県連携協議会と共同する。
- ◆ 対象：都道府県連携協議会へアプローチできる都道府県は？
⇒ 聞き取り調査の対象県にも早めにアプローチしておく

参加した都道府県との意見交換会

参加した都道府県に検討結果をフィードバック

⇒ 各地域のがん医療の発展に寄与するか等に関する意見交換会

研究の総括

「拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標」を提言する。

がん診療連携拠点病院等の評価のためのロジックモデルの活用

集学的治療等の提供体制及び標準的治療等の提供

- 集学的治療等と標準治療の提供
- チーム医療
 -
 -
 -
 -
 -
- 支持療法
- がんリハ
- 歯科
- 在宅
- セカンドオピニオン

がん施策	内容	アウトプット指標	中間アウトカム	内容	指標	分野別アウトカム	内容	指標
集学的治療等と標準治療の提供	手術、放射線治療及び薬物療法、リハビリ、緩和ケアを提供できる集学的治療等の提供ができる体制の構築	我が国に多いがんを中心とした標準治療の提供					担当する医療圏における	全患者に標準的治療が提
		院内での他科受診の体制確保						適切な治療法を選
	当該施設について集学的治療提供しない場合、適切な医療機関に確実に繋げることができる体制の構築	高度技術については、体制整備（紹介か内部整備なのか）を計画的に進め、患者の流れの確立						
		集約化による治療成績が向上できる機会等、集学的治療が提供できない患者へのスムーズな紹介で						
集学的治療等と標準治療の提供	標準治療と見与える選択肢のある診療科確保すること	整備指針に基づいたがん施策の列挙						
	保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法（平成29年法律第16号）で定める特定臨床研究または再生医療等の安全性の確保に関する法律（平成25年法律第85号）に基づき提供される再生医療等の枠組み以外の形では、実施・推奨しないこと。	保険適用外の免疫療法等について、法律に基づき提供される枠組み以外の形では、実施・推奨しない					治療のプロセス全体に関して、患者と共に関心しながら治療方針等について決定することができる	患者とともに考えながら、治療方針が検討できる
チーム医療	医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等には看護師や心理士が同席すること	医師以外の職種が病状説明の際に同席する		患者が医療従事者等に話を聞いてもらえたと実感できる			チーム医療による活動が医療に反映されたことを患者が認識する	患者が安心する
	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催すること。（i, ii, iii, iv）	カンファレンスを定期的に開催する	検討内容の関係者間で共有しているかどうか					
	院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけでなく、看護師や薬剤師等の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備すること	化学療法や緩和医療において多職種によるチームが組織されている（高橋）			医療機関間で連携できている			
当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研修やカンファレンスを定期的に行うこと。	担当する医療圏において、拠点病院を中心とした病院の連携体制が整っている（高橋）						院内での各チームの必要性や働きについて、治療に関わる全診療従事者が理解している	

ロジックの完成の後に、各評価指標を選定する。（測定可能かどうかも含めて）

全国のがん診療連携拠点病院へアンケート調査をお願いします。

整備指針の各項目が求めるものの言語化（中間アウトカム・分野別アウトカム）

がん診療連携拠点病院等の多職種へのインタビュー調査

※ 参加を依頼する実務者の例

がん拠点病院の活動に関係するスタッフの皆様

- ◇ 施設責任者
- ◇ がん拠点活動の中心となる医師（貴県の各専門部会の施設責任者など）
- ◇ がん相談支援センター
- ◇ 緩和ケアチーム
- ◇ 地域連携担当
- ◇ リハビリテーション部門、放射線関係、薬物療法関係、事務関係 …… など

※ 検討点

- ◇ がん拠点の医療者から見たがん診療の質の向上を評価できる（評価して欲しい）指標は何か？
- ◇ （医療者が考える）患者の立場からみて重要と考えられる指標は何か？
- ◇ 地域の医療機関からがん拠点に望む機能の充足を知る指標は何か？
- ◇ 医療従事者への教育、モチベーションや満足度を高める取り組みを評価できる指標は何か？
- ◇ がん拠点の経営を含むマネジメントの観点からの指標は何か？
- ◇ 都道府県協議会で話し合った方がよい事項、その活動を表す指標は何か？
- ◇ その他、活動に関わる困りごとは？ など
- ✚ 指標でなくても、「こういうことを評価すべきだ」といった意見も収集する。

- 対面での調査が必要と考える。
- 調査する側も多角的な観点からのインタビューができるように、毎回3～5人のメンバーが交代で現地に参加する予定。

都道府県がん診療連携協議会へのインタビュー調査

都道府県がん診療連携拠点病院へのインタビュー調査

都道府県がん診療連携協議会のあり方に関して：

- (1) **新・整備指針にある「都道府県連携協議会の主な役割」「地域がん拠点の指定要件の都道府県協議会における役割」などの部分について：** (2以外で)

- ・感想は？
- ・もっと書き込んだ方がよいと思われる事項は？
- ・意味が不明と感ぜられる事項は？
- ・違和感を感じる、必要性を感じない事項は？

- (2) **都道府県協議会としての活動内容に関して：**

- ・貴県で既に実施されてる有効と考える取り組みは？
⇒ その実現に苦労した点、推進のポイントは？
- ・他県に拡大したい活動は？
- ・他県には拡大できないと思われる活動は？
- ・先進県であるからこそ評価して欲しい項目は？
- ・都道府県協議会の何を評価したら、自県の立ち位置がわかるか？
- ・貴県において、これから取り組んでいこうと思う事項は？
- ・貴県で「必要性が大きい、解決への課題が大きい」と感じる事項は？
- ・国あるいは外部（大学など）の支援があると良い事項は？
(資金以外)

★それを評価しベンチマーキングできる適切な指標は何か？

- (3) **都道府県協議会の活動に関する現在の問題点について：**
(4以外で)

- ・開催の負担（労力、費用）？
- ・効果の評価の方法と結果を踏まえた改善は？
- ・何が足りないか？
- ・どうしたら現状を改善できるか？

★問題点を明確にできる指標は何か？

- (4) **都道府県協議会の持続可能性について：**

- ・最大の阻害因子は何か？
- ・将来にわたって何ができるか？
- ・持続可能性を高めるために何をしなければいけないか？
- ・担当者の交代の際に、必要な要素は何か？

★これらを評価する適切な指標は何か？

インタビュー調査の進捗状況

都道府県拠点	地域拠点	施設種類	対象	
信州大 高知大 島根大	名古屋大 神戸大	(大学)	研究班 (希少がん)	国立がん研究センター：川井章先生
			研究班 (AYA)	国立国際医療研究センター：清水千佳子先生
四国がん 北海道がん 愛知がん 兵庫がん		(がんセンター)	研究班 (小児)	国立成育医療研究センター：松本公一先生
			研究班 (ピアサポート)	国立がん研究センター：小川朝生先生
			研究班 (生殖医療)	聖マリアナ医科大学：鈴木直先生
都立駒込	諏訪赤十字 高知医療セ 岩手県立中央 島根県立中央	(総合病院)	研究班 (高齢者) 予定	
			研究班 (緩和医療) 予定	

- 都道府県がん診療連携協議会：沖縄県・高知県・東京都
- 行政：長野県・高知県・島根県

ご協力いただいたご施設・皆様に感謝申し上げます。

本研究の流れ（1年目・2年目）

拠点病院等の運用状況や進捗等を確認できる客観的な評価指標の開発と選定

令和4年度

ロジックモデルから考える指標案：研究班のコンセンサス形成

・がん診療連携拠点病院はどうあるべきか？ ・各指針の目標は何か？ 等

評価指標の洗い出しと整理

既存データベースからの「拠点病院等の医療の質の評価」に資する指標の洗い出しと整理

がん対策推進協議会等における議論の整理

現場への聞き取り（現場が望む指標は？）
⇒ 都道府県がん拠点 & 地域がん拠点

★診療部門・がん相談支援センター・緩和ケア・地域連携等の部門の実務者への調査
★都道府県拠点へは、連携協議会あり方についても調査

拠点病院等の活動に関わる既存研究班へのヒアリングによる評価指標の洗い出しと整理

・高齢者 ・小児がん ・AYA世代
・妊孕性 ・緩和ケア ・希少がん
・ピアサポート 等

令和5年度

全拠点病院等に対するアンケート調査（+意見交換会）

「洗い出し・整理された評価指標案について」「現場が望む評価指標とは？」について

適切かつ客観的な評価指標（案）の策定

全がん診療連携拠点病院等へのアンケート調査のお願い

- がん拠点の医療者から見たがん診療の質の向上を評価できる（評価して欲しい）指標は何か？
- （医療者が考える）患者の立場からみて重要と考えられる指標は何か？
- 地域の医療機関からがん拠点に望む機能の充足を知る指標は何か？
- 医療従事者への教育、モチベーションや満足度を高める取り組みを評価できる指標は何か？
- がん拠点の経営を含むマネジメントの観点からの指標は何か？
- 都道府県協議会で話し合った方がよい事項、その活動を表す指標は何か？
- その他、活動に関わる困りごとは？ など

- ◆ 現在実施しているもので、都道府県内の役割分担や質の向上につながる取り組みは？
- ◆ 今はできていないが、これからの実施を検討している取り組みは？